

## 事業所における 自己評価結果（公表）

公表：令和 5 年 1 月 1 日

事業所名 コベルプラス広中央 教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3		静の活動と動の活動を行う部屋がしっかり分かれており、子どもにとっても分かりやすい。	
	②	職員の配置数は適切である		3	管理者兼児発管 1 名と指導員 2 名で運営しており、最低基準は満たしているが、職員の有給などは取りづらい。	会社と話し合い、職員の補充を強化していきます。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	3		玄関からフロア内も全てバリアフリーになっている。また、机上課題のお部屋と粗大運動のお部屋が分かれている。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	3		整理・整頓・清掃は欠かさず行い、導線も分かりやすい。	
業務 改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	3		日々のレッスンから、振り返りと次回の対策について職員間で話し合うことを徹底している。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3		昨年度頂いたご意見には一つずつ対策を考え、対応した。また、今年度も同様に行う。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3		昨年度集計したものは公式ホームページの広中央教室にて公開している。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3		外部評価の結果を受け入れ、改善している。	
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3		毎月、その月で決めたテーマで事業所内での研修を行っている。	
適切な	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	3		保護者様のお話と本人の状態を踏まえて計画を作成している。	

支援の提供	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3		年齢0～2歳向け、2～4歳向け、4～6歳向けのアセスメントツールをそれぞれ使用している。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	3		コベルプラス独自のプログラムにより地域支援をする機会が少ないが、地域行事のお祭りの太鼓を見学し、お祭りの雰囲気味わった。また、発達支援、家族支援に関しては力を入れて行っている。	

	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	3		ひとりひとりの課題に対する支援を行っている。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	3		その都度、子どもの状態や組み合わせを考えながら、スタッフ間で話し合っで決める。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3		コベルプラスのプログラムで1か月ごとに教材が変わる為、固定化はしない。また、個々の成長に合わせて個別支援の課題にも取り組んでいる。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	3		他者への興味が出てきたり、集団を意識して活動できる年齢に達したお子さまには集団療育も混ぜながら通って頂いている。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3		支援前よりも支援後に次回の対策について話し合うことが多い。必要に応じて支援前にも打ち合わせをすることがある。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3		支援後は必ず振り返りと、情報共有をし、次回の対策を話し合っている。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3		記録は要点だけでなく、それぞれ取り組んだ課題ごとの反応や気づきを記録している。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	3		少なくとも半年に1回はモニタリングを行い、個別支援計画書の見直しを	

					している。また、半年待たずに終了になったケースに関しても、最終モニタリングを行っている。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3		児童発達支援管理責任者が参加している。今後、可能な限り指導員も一緒に参加していきたい。	
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	3		定期的に、事業所のご紹介や空き状況をご案内させて頂いている。	
	㉒	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		3	医ケア児のご利用がない。	今後必要に応じて取り組んでいきます。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		3	医ケア児のご利用がない。	今後必要に応じて取り組んでいきます。
	㉔	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3		担当者会議がある場合は保育園や子ども園と情報共有ができる。	
	㉕	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		3	小学校や特別支援学校との情報共有はできていないが、必要に応じて保護者様に対し、小学校へ提出する用のフェイスシートの作成方法についてお伝えしたり、事業所での様子をまとめたものをお渡しすることもあった。	
	㉖	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3		研修は行っていないが、担当者会議で助言を頂く機会はある。	
	㉗	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		3	利用者様のご兄弟との交流は時々ある。	地域の行事などがあれば今後参加していきます。
	㉘	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		3	子ども部会や定例会が事業所の定休日に開催されていたこともあり現在は参加できていない	11月の定例会から参加する予定です。

	⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	3		レッスン終了後に毎回、その日担当した指導員から保護者様に対してフィードバックをさせていただいている為、少なくとも10分はお話ができている。また、レッスン中は児発管から保護者様にお声かけしお話をさせていただいている。	
	⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている		3	スタッフの人数も少なく、継続的な開催が難しい為、現在ペアトレはしていない。	スタッフの人数が増え、継続的に開催できる環境が整い次第、ペアトレにも取り組んでいく予定です。
保護者への説明責任等	⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3		ご契約の際に説明している。	
	⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	3		モニタリング、個別支援計画書の説明はその都度行い、同意のサインを頂いている。	
	⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3		レッスンを見ながらではあるが、ご相談に対応しており、必要に応じて別室へ誘導することもある。また、SNS（LINE）にてのご相談も行っている。	
	⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		3	保護者会などは開催していないが、集団レッスンや日々のレッスンで同時に来所された保護者様同士ではお話をされることがある。	それぞれのご家庭の状況もあり、来所が可能な時間にレッスンを入れて頂いている為、保護者会開催は難しいと考えております。年度末にアンケート用紙をお配りし、ご感想・ご要望などお聞きした上で、集計させていただき、掲示板へ掲載するよう対応していきたいと思っております。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	3		教室での判断が難しい場合は本社に確認を取りながら、申し入れに対して迅速にご対応させて頂いている。	
	⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3		会報はないが、教室内の掲示板や、SNS（Instagram）にて、行事や定休日などの発信を行っている。	
	⑱	個人情報の取扱いに十分注意している	3		個人情報の取り扱いについて、定期的に研修を	

					行い、細心の注意を払って取り扱っている。	
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3		子どもに対しては当然のことだが、保護者様に対しても、必要に応じて文字にして伝えるなどの手段を取っている。	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		3	地域住民の招待は行っていないが、地域の幼稚園・保育園・相談支援事業所からの見学希望者をいつでも受け入れることができる。	地域の方からの体験レッスンのご応募や、幼稚園・保育園の先生方、相談員さん、関係機関の方々のご見学も随時受け付けております。
非常時等の対応	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	3		マニュアルを作成し、それに基づいた不審者対応時の避難訓練を行った。	
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3		災害時（地震・津波・火災）の避難訓練を行った。また、1月中にも行う予定。	
	④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	3		利用はじめのアセスメントにて、そのようなことも含めて子どもの状況をお聞きしている。	
	④⑭	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		3	食事やおやつを提供は行っていない。	
	④⑮	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3		必要に応じてヒヤリハットの記録を残している。	
	④⑯	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3		虐待防止の研修を行っている。	
	④⑰	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	3		個別支援計画への記載は必要に応じて行う。また、ご契約の際には丁寧に説明し、了承を得ている。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。